

市 民 ア ン ケ ー ト 調 査
結 果 報 告 書

平成29年1月

藤 岡 市

目 次

1	調査の概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査対象及び調査方法	1
	(3) 配布数及び回収結果	1
	(4) 調査結果報告書の留意点	2
	(5) 地区別回収状況	2
	(6) 性別・年代別回収状況	3
	(7) 地区別・年代別回収状況	3
2	回答者の属性	4
	(1) 性別	4
	(2) 年齢	4
	(3) 就業形態	5
	(4) 業種	5
	(5) 就業先	5
	(6) 居住経験	6
	(7) 居住地区	6
3	まちの現状について	7
	市の現状評価	7
	図表 1 市の現状評価（全体、居住地区別/満足度）	10
	図表 2 市の現状評価（全体/満足度）	11
	図表 3 市の現状評価（居住地区別/満足度）－藤岡地区－	12
	市の現状評価（居住地区別/満足度）－神流地区－	13
	市の現状評価（居住地区別/満足度）－小野地区－	14
	市の現状評価（居住地区別/満足度）－美土里地区－	15
	市の現状評価（居住地区別/満足度）－美九里地区－	16
	市の現状評価（居住地区別/満足度）－平井地区－	17
	市の現状評価（居住地区別/満足度）－日野地区－	18
	市の現状評価（居住地区別/満足度）－鬼石地区－	19

4	これからのまちづくりについて	20
	今後の重点施策分野	20
	図表 4 今後の重点施策分野（全体/複数回答）	21
	図表 5 今後の重点施策分野（全体、性別、年齢別/複数回答）	22
	図表 6 今後の重点施策分野（全体、居住地別/複数回答）	23
5	自由意見	24
	自由意見の内容	25
	資料：調査票	31

(4) 調査結果報告書の留意点

本報告書を理解する上で、次の点に留意する必要がある。

- 比率は百分率(%)で表示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。
- 基礎となるべき実数は、“n=823”として記載し、各比率はnを100%として算出した。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問いは、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問いのため、各回答の合計比率は100%を超える場合がある。

(5) 地区別回収状況

地区名	対象者数(人)			回収者数(人)				回収率(%)		
	男性	女性	計	男性	女性	不明	計	男性	女性	計
藤岡地区	305	308	613	134	161	6	301	43.9	52.3	49.1
神流地区	136	133	269	47	45	1	93	34.6	33.8	34.6
小野地区	172	170	342	53	72	1	126	30.8	42.4	36.8
美土里地区	131	131	262	59	51	0	110	45.0	38.9	42.0
美九里地区	87	86	173	27	34	0	61	31.0	39.5	35.3
平井地区	65	63	128	19	27	1	47	29.2	42.9	36.7
日野地区	25	22	47	7	6	0	13	28.0	27.3	27.7
鬼石地区	84	82	166	32	37	1	70	38.1	45.1	42.2
無回答				1	1	0	2			
計	1,005	995	2,000	379	434	10	823	37.7	43.6	41.2
構成比率(%)	50.2	49.8	100.0	46.1	52.7	1.2	100.0			

(6) 性別・年代別回収状況

区 分	男性 (人)	女性 (人)	不明 (人)	計 (人)	構成比率 (%)
10歳代	5	11	0	16	1.9
20歳代	28	31	0	59	7.2
30歳代	28	35	0	63	7.7
40歳代	80	65	0	145	17.6
50歳代	56	77	0	133	16.2
60歳代	105	127	3	235	28.5
70歳代	70	74	4	148	18.0
80歳代以上	6	12	2	20	2.4
無回答	1	2	1	4	0.5
計	379	434	10	823	100.0
構成比率 (%)	46.1	52.7	1.2	100.0	

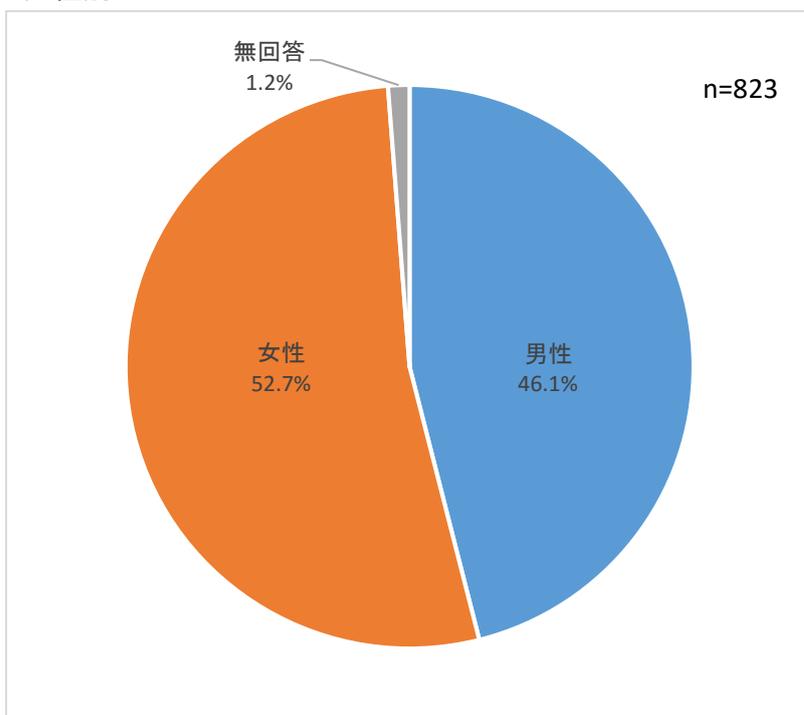
(7) 地区別・年代別回収状況

(単位：人)

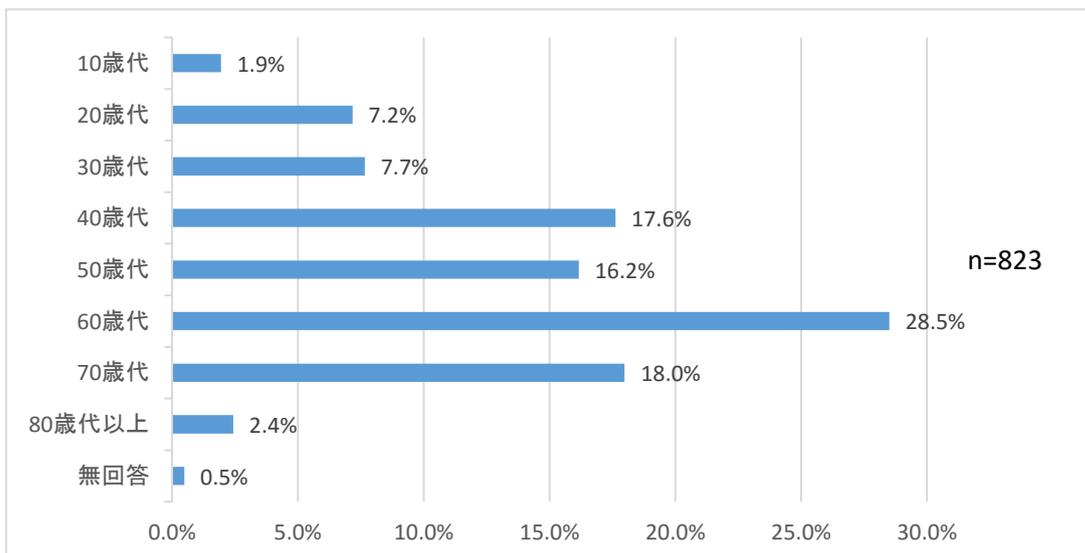
区 分	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代 以上	不明	全体
藤岡地区	8	23	32	64	44	71	51	6	2	301
神流地区	0	8	5	16	19	30	14	1	0	93
小野地区	3	8	8	23	20	32	27	4	1	126
美土里地区	2	8	6	11	19	41	21	2	0	110
美九里地区	2	7	8	9	9	18	8	0	0	61
平井地区	0	3	2	8	7	15	8	4	0	47
日野地区	0	1	0	1	2	7	2	0	0	13
鬼石地区	1	1	2	13	12	21	16	3	1	70
無回答	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
計	16	59	63	145	133	235	148	20	4	823

2 回答者の属性

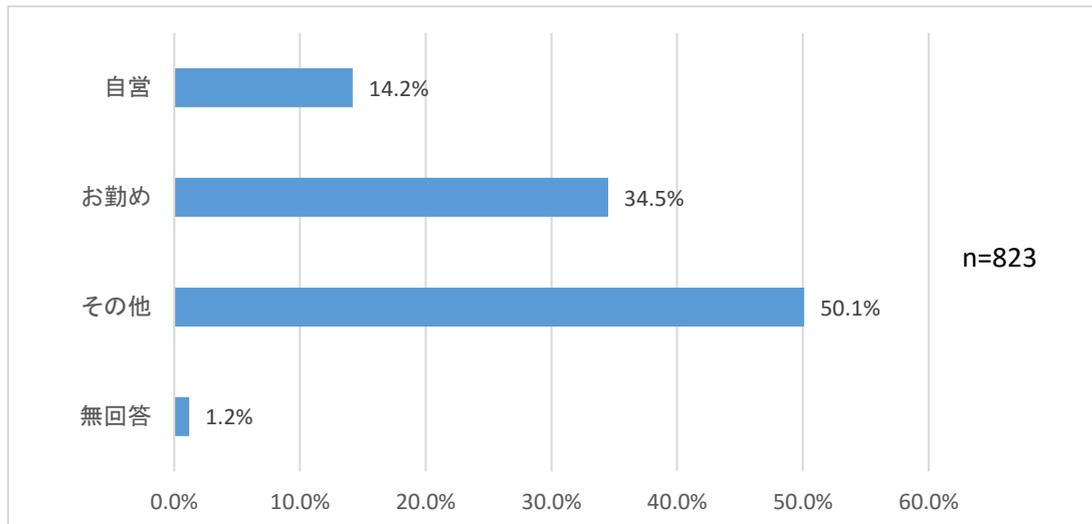
(1) 性別



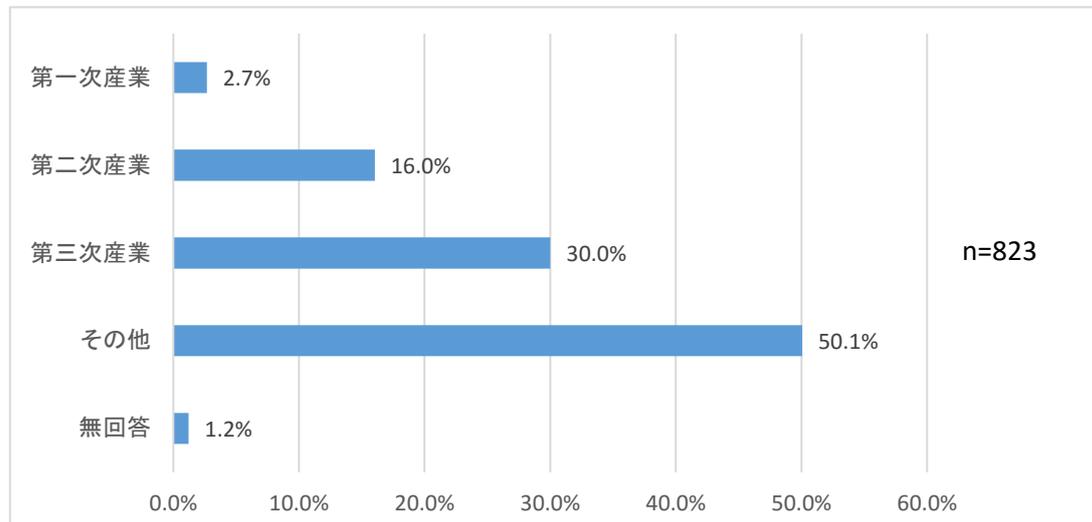
(2) 年齢



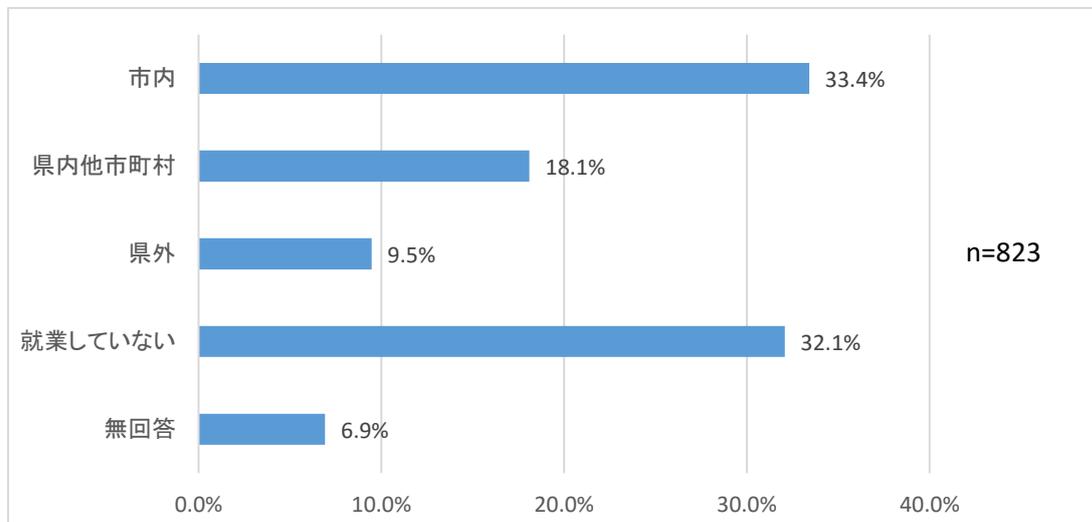
(3) 就業形態



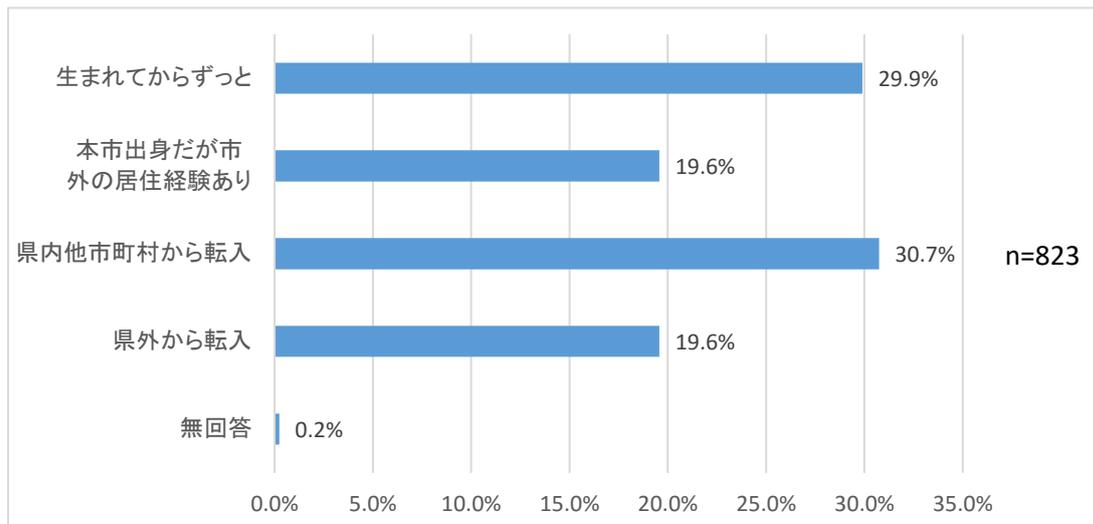
(4) 業種



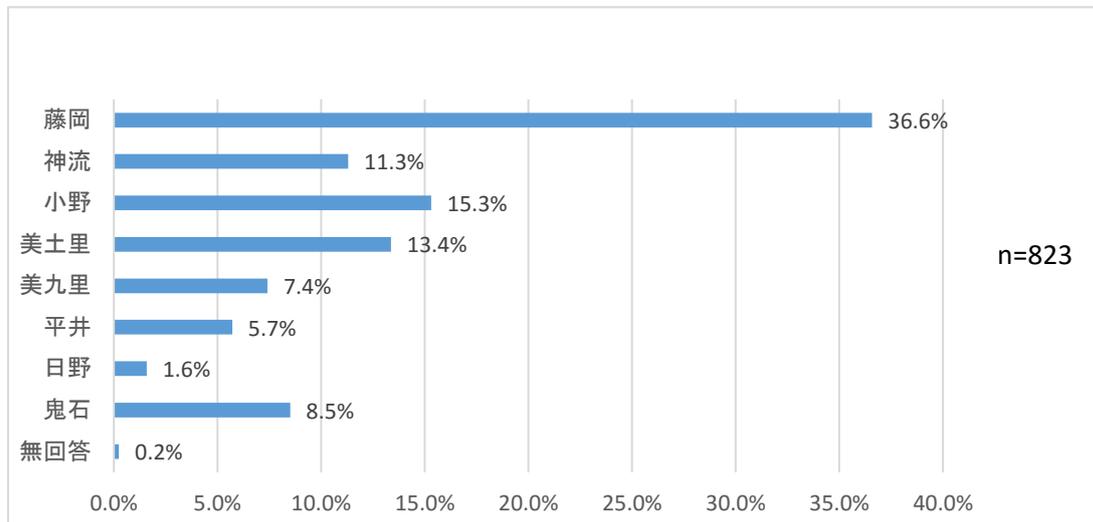
(5) 就業先



(6) 居住経験



(7) 居住地区



3 まちの現状について

市の現状評価

問2 藤岡市の現状に関する(1)～(25)の各項目について、あてはまる満足度1つに○をつけてください。

- 満足度の最も高い項目は、「自然環境の豊かさ」であった。続いて、「ごみの収集・処理の状況」、「水道の整備状況」の順であった。
- 満足度の最も低い項目は、「鉄道の便利さ」であった。続いて、「バスの便利さ」、「観光・レジャーの整備状況」の順であった。

本市の現状に関する市民の評価を把握するため、自然環境や生活基盤、福祉、教育など各分野にわたる24項目と全体的な市の現状を評価する項目の計25項目について、項目ごとに「満足」、「やや満足」、「どちらともいえない」、「やや不満」、「不満」の5段階で評価してもらった。その結果を加重平均値(※後述参照)にて評価点(満足度：最高点10点、最低点-10点)を算出した。

各分野にわたる24項目のうち、評価点が最も高かったのは、「自然環境の豊かさ」(4.66点※前回4.83点)であった。続いて、「ごみの収集・処理の状況」(4.12点※前回4.31点)、「水道の整備状況」(3.50点※前回2.79点)、「火災や災害からの安全性」(3.17点※前回2.83点)、「交通事故や犯罪からの安全性」(1.90点※前回1.34点)の順となった。平成25年度に実施した前回の調査とほぼ同様の結果となっている。

評価点が最も低かったのは、「鉄道の便利さ」(-4.70点※前回-4.98点)であった。続いて、「バスの便利さ」(-3.87点※前回-3.70点)、「観光・レジャーの整備状況」(-1.52点※前回-1.66点)、「働きがいのある職場の充実さ」(-1.24点※前回-1.77点)、「道路の整備状況」(-0.76点※前回-1.13点)の順となった。平成25年度に実施した前回の調査とほぼ同様の結果となっている。

評価点がプラス値となっている項目は19項目、マイナス値となっている項目は5項目であった。平成25年度に実施した前回調査では、プラス値となっている項目は17項目、マイナス値となっている項目が7項目であった。

また、全体的な市の現状を評価する項目である「全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ」は、前回の2.04点から2.37点となり、総合的な市の現状評価は高い。

なお、居住地区別の評価点について、上位3項目と下位3項目、「全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ」を次ページのとおりまとめた。すべての地区で「自然環境の豊かさ」や「ごみの収集・処理の状況」の評価点が高い一方で、「鉄道の便利さ」と「バスの便利さ」の評価点は他の項目と比べて低い。また、日野地区や鬼石地区は、他の地区と比べて「日常の買物の便利さ」の評価点が低くなっている。[図表1～3参照]

藤岡地区

全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ 2.76 点

(単位：点)

	評価点上位		評価点下位	
第1位	自然環境の豊かさ	4.43	鉄道の便利さ	-5.05
第2位	ごみの収集・処理の状況	3.75	バスの便利さ	-3.58
第3位	水道の整備状況	3.67	観光・レジャーの整備状況	-1.38

神流地区

全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ 2.85 点

(単位：点)

	評価点上位		評価点下位	
第1位	ごみの収集・処理の状況	4.89	バスの便利さ	-3.59
第2位	自然環境の豊かさ	4.78	鉄道の便利さ	-2.12
第3位	水道の整備状況	3.83	観光・レジャーの整備状況	-1.10

小野地区

全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ 1.94 点

(単位：点)

	評価点上位		評価点下位	
第1位	ごみの収集・処理の状況	4.08	バスの便利さ	-3.99
第2位	自然環境の豊かさ	3.97	鉄道の便利さ	-3.44
第3位	水道の整備状況	3.00	道路の整備状況	-2.14

美土里地区

全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ 2.43 点

(単位：点)

	評価点上位		評価点下位	
第1位	自然環境の豊かさ	4.68	鉄道の便利さ	-5.19
第2位	火災や災害からの安全性	3.99	バスの便利さ	-4.08
第3位	ごみの収集・処理の状況	3.94	観光・レジャーの整備状況	-1.71

美九里地区

全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ 1.92 点

(単位：点)

	評価点上位		評価点下位	
第1位	自然環境の豊かさ	4.75	鉄道の便利さ	-5.92
第2位	ごみの収集・処理の状況	3.75	バスの便利さ	-3.83
第3位	水道の整備状況	3.33	観光・レジャーの整備状況	-2.25

平井地区

全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ 2.39 点

(単位：点)

	評価点上位		評価点下位	
第1位	ごみの収集・処理の状況	5.65	鉄道の便利さ	-5.22
第2位	自然環境の豊かさ	5.34	バスの便利さ	-4.24
第3位	火災や災害からの安全性	4.11	観光・レジャーの整備状況	-1.30

日野地区

全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ 1.15 点

(単位：点)

	評価点上位		評価点下位	
第1位	自然環境の豊かさ	6.15	鉄道の便利さ	-4.55
第2位	騒音・振動・悪臭等の環境	5.42	バスの便利さ	-4.23
第3位	ごみの収集・処理の状況	5.38	観光・レジャーの整備状況	-3.08

鬼石地区

全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ 1.36 点

(単位：点)

	評価点上位		評価点下位	
第1位	自然環境の豊かさ	6.27	鉄道の便利さ	-6.85
第2位	ごみの収集・処理の状況	4.15	バスの便利さ	-4.77
第3位	水道の整備状況	3.46	日常の買物の便利さ	-2.95

※加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（満足度）を算出する。

$$\text{評価点} = \left(\begin{array}{l} \text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ \text{「やや不満」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ \text{「不満」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array} \right) \div \left(\begin{array}{l} \text{「満足」、「やや満足」、「どちらとも} \\ \text{いえない」、「やや不満」、「不満} \\ \text{の回答者数} \end{array} \right)$$

この算出方法により、評価点（満足度）は10点～-10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高くなり、逆に-10点に近くなるほど評価が低くなる。

図表1 市の現状評価(全体、居住地区別/満足度)

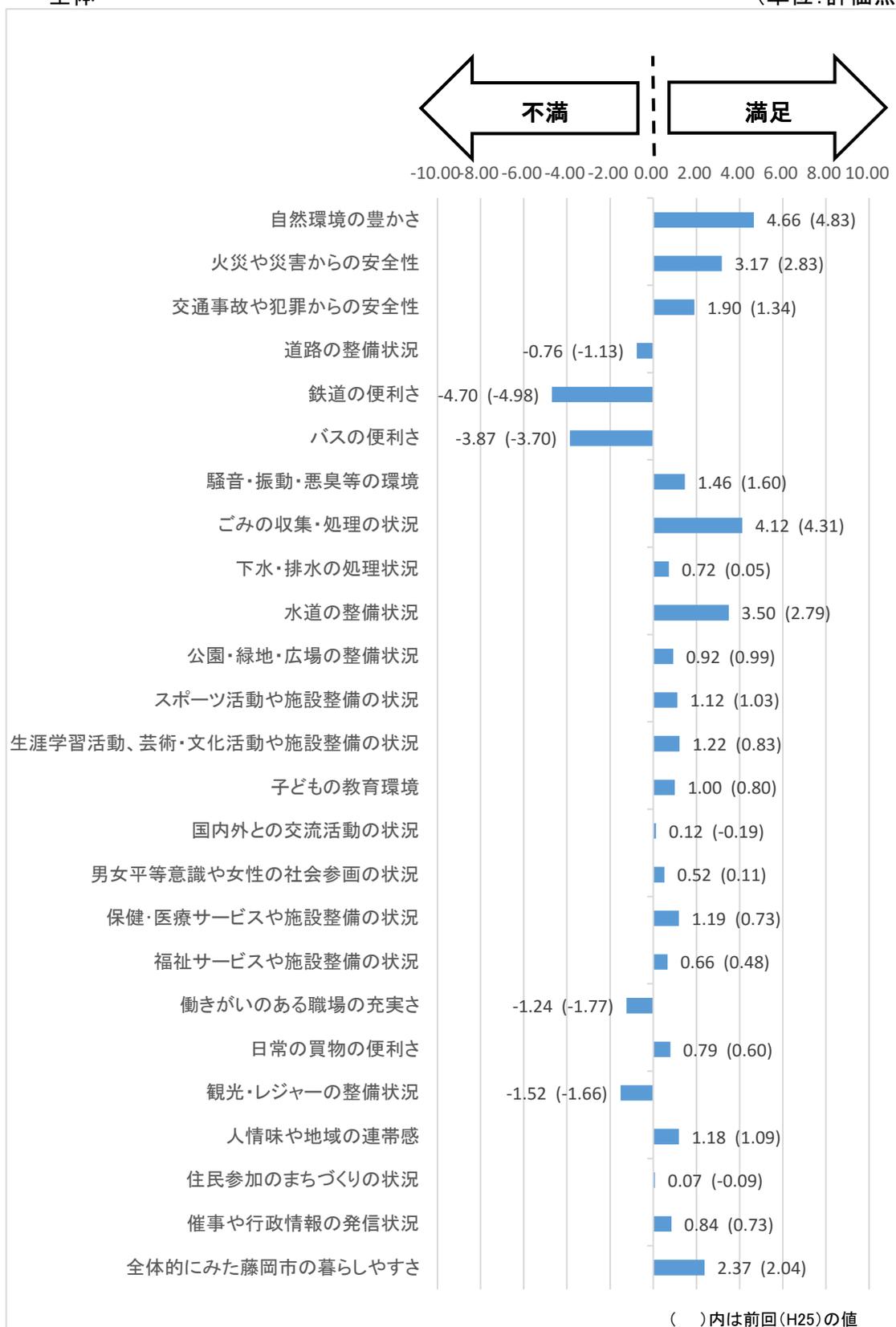
(単位:評価点)

	満足度								
	全体	居住地区							
		藤岡	神流	小野	美土里	美九里	平井	日野	鬼石
(1) 自然環境の豊かさ	4.66	4.43	4.78	3.97	4.68	4.75	5.34	6.15	6.27
(2) 火災や災害からの安全性	3.17	3.21	3.60	2.42	3.99	2.29	4.11	-0.42	3.38
(3) 交通事故や犯罪からの安全性	1.90	1.87	1.40	1.65	3.04	1.08	1.85	1.25	2.42
(4) 道路の整備状況	-0.76	-0.99	-1.08	-2.14	0.32	-0.25	1.09	-0.38	-0.46
(5) 鉄道の便利さ	-4.70	-5.05	-2.12	-3.44	-5.19	-5.92	-5.22	-4.55	-6.85
(6) バスの便利さ	-3.87	-3.58	-3.59	-3.99	-4.08	-3.83	-4.24	-4.23	-4.77
(7) 騒音・振動・悪臭等の環境	1.46	1.70	1.63	1.16	1.17	0.75	1.30	5.42	1.29
(8) ごみの収集・処理の状況	4.12	3.75	4.89	4.08	3.94	3.75	5.65	5.38	4.15
(9) 下水・排水の処理状況	0.72	1.71	-0.38	-0.08	-0.41	0.83	2.17	0.83	0.23
(10) 水道の整備状況	3.50	3.67	3.83	3.00	3.62	3.33	4.02	0.77	3.46
(11) 公園・緑地・広場の整備状況	0.92	1.12	0.65	-0.28	0.65	1.83	1.52	-0.83	2.58
(12) スポーツ活動や施設整備の状況	1.12	1.09	1.40	0.44	0.83	1.83	2.61	-2.50	1.62
(13) 生涯学習活動、芸術・文化活動や施設整備の状況	1.22	1.38	1.47	0.67	0.87	1.17	2.72	-0.83	1.17
(14) 子どもの教育環境	1.00	0.98	1.40	1.33	1.03	0.42	1.63	-2.92	0.79
(15) 国内外との交流活動の状況	0.12	0.24	0.33	0.00	-0.05	-0.17	0.43	-0.42	0.00
(16) 男女平等意識や女性の社会参画の状況	0.52	0.49	0.00	0.69	0.41	0.50	0.67	0.42	1.17
(17) 保健・医療サービスや施設整備の状況	1.19	0.88	1.90	1.92	1.16	1.08	1.78	0.00	0.15
(18) 福祉サービスや施設整備の状況	0.66	0.33	1.20	0.89	0.42	0.75	1.44	-2.31	1.31
(19) 働きがいのある職場の充実さ	-1.24	-1.30	-1.03	-1.36	-1.03	-1.36	-0.87	-2.27	-1.51
(20) 日常の買物の便利さ	0.79	2.16	1.52	-0.36	1.65	-0.67	-0.43	-1.67	-2.95
(21) 観光・レジャーの整備状況	-1.52	-1.38	-1.10	-1.60	-1.71	-2.25	-1.30	-3.08	-1.38
(22) 人情味や地域の連帯感	1.18	0.84	1.18	0.88	1.06	0.85	1.74	2.31	3.33
(23) 住民参加のまちづくりの状況	0.07	0.10	-0.11	-0.20	-0.05	-0.42	1.11	-0.77	0.92
(24) 催事や行政情報の発信状況	0.84	0.48	1.45	0.91	1.01	0.75	1.52	0.00	0.77
(25) 全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ	2.37	2.76	2.85	1.94	2.43	1.92	2.39	1.15	1.36

図表2 市の現状評価(全体/満足度)

全体

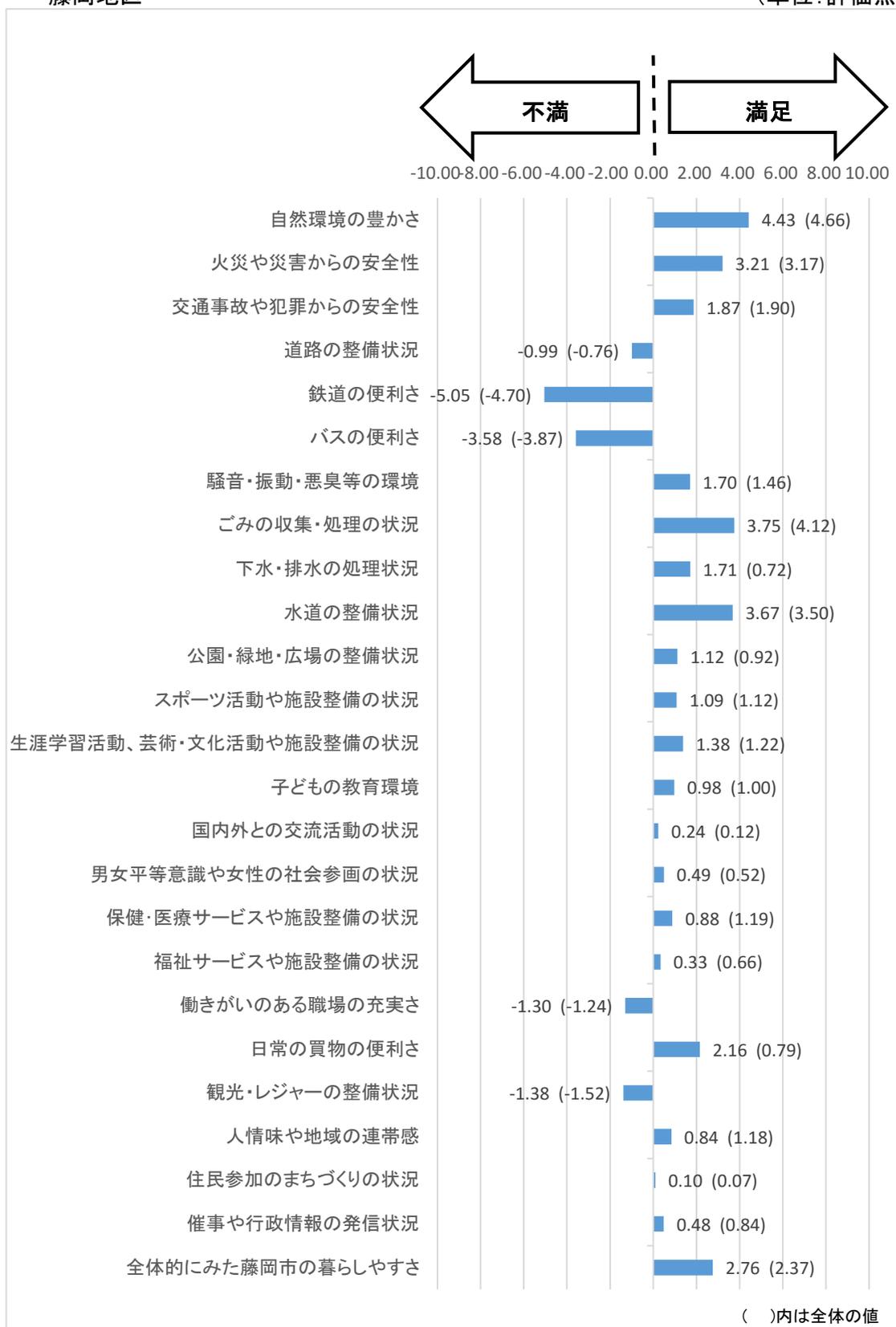
(単位:評価点)



図表3 市の現状評価(居住地区別/満足度)

藤岡地区

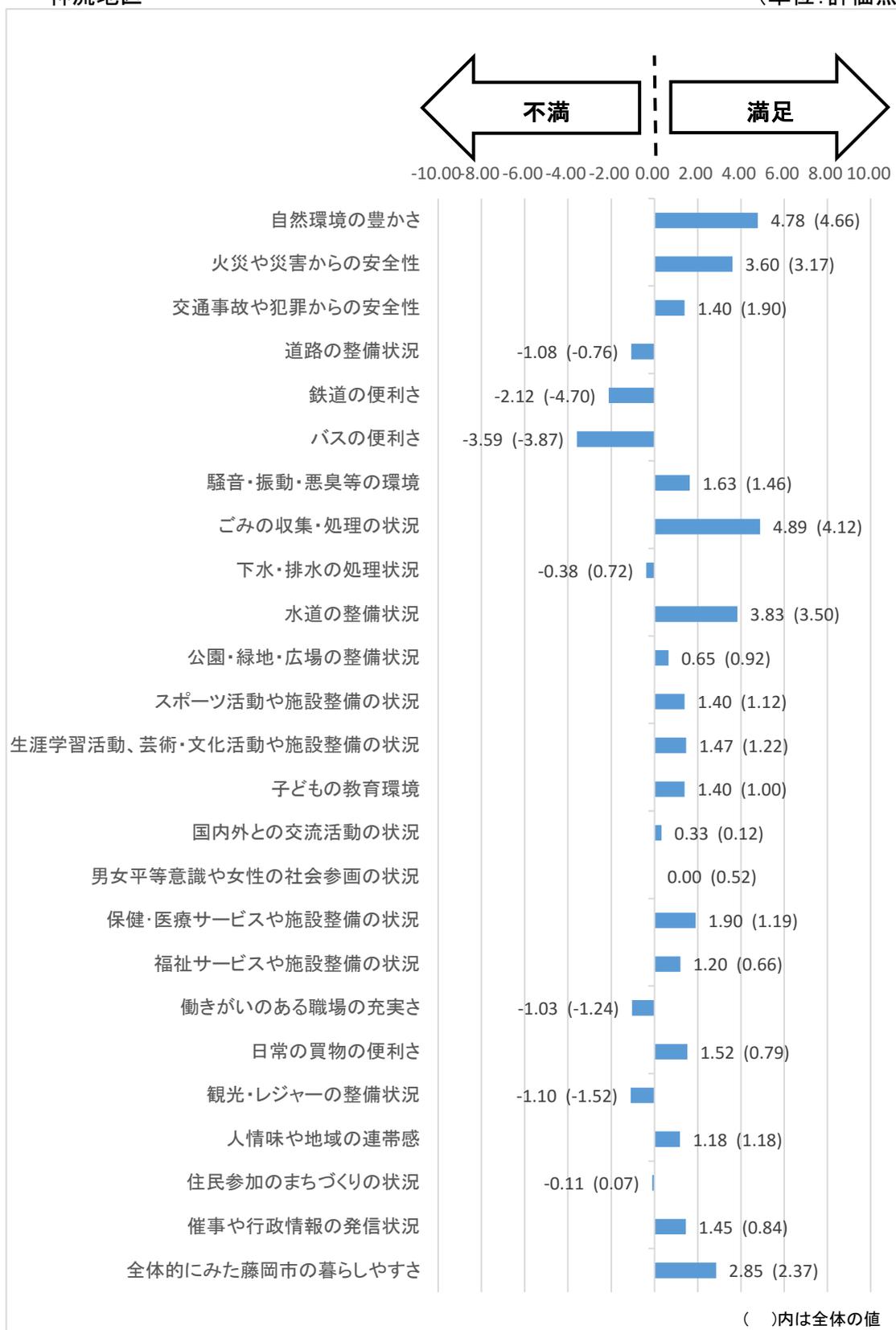
(単位:評価点)



図表3 市の現状評価(居住地区別/満足度)

神流地区

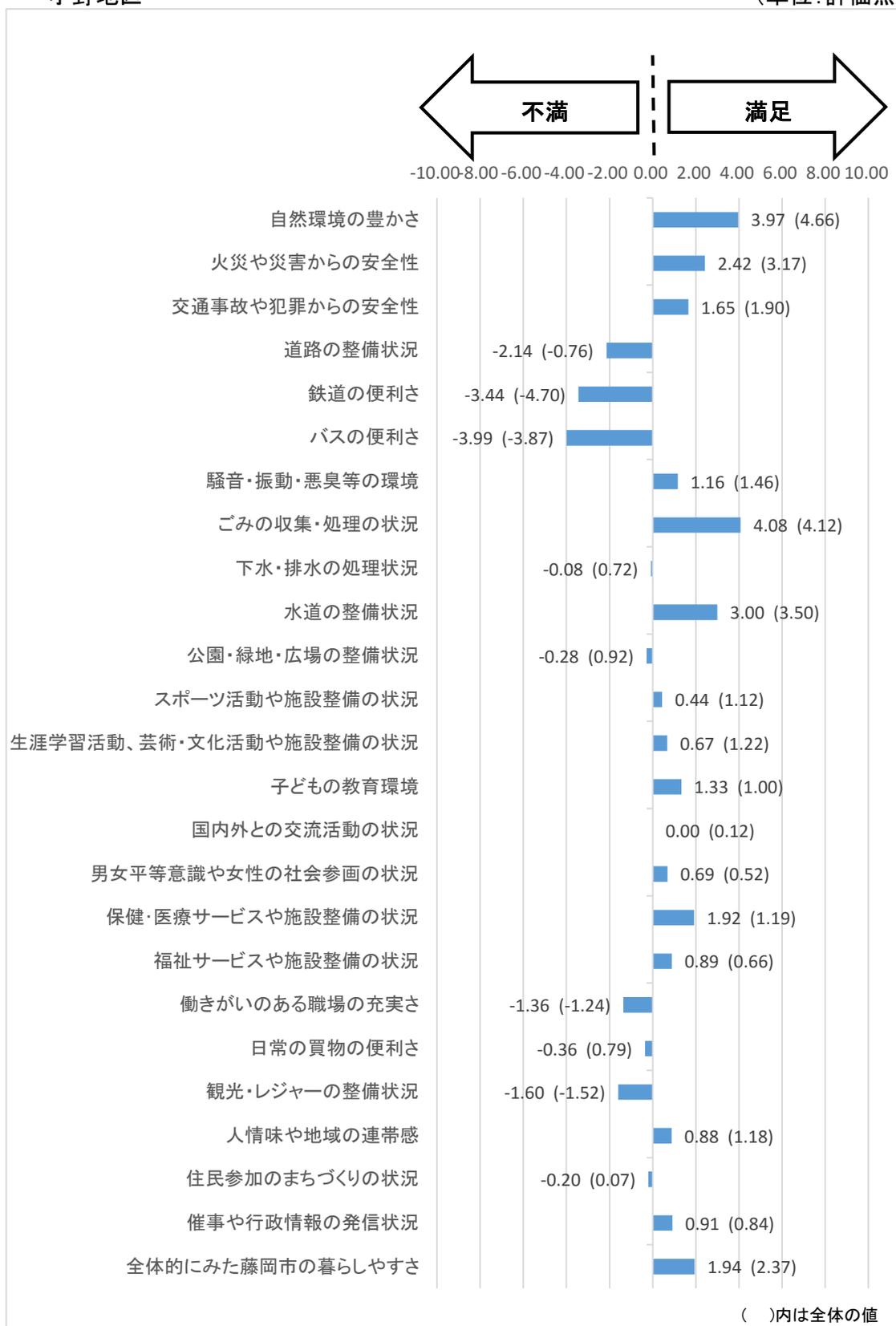
(単位:評価点)



図表3 市の現状評価(居住地区別/満足度)

小野地区

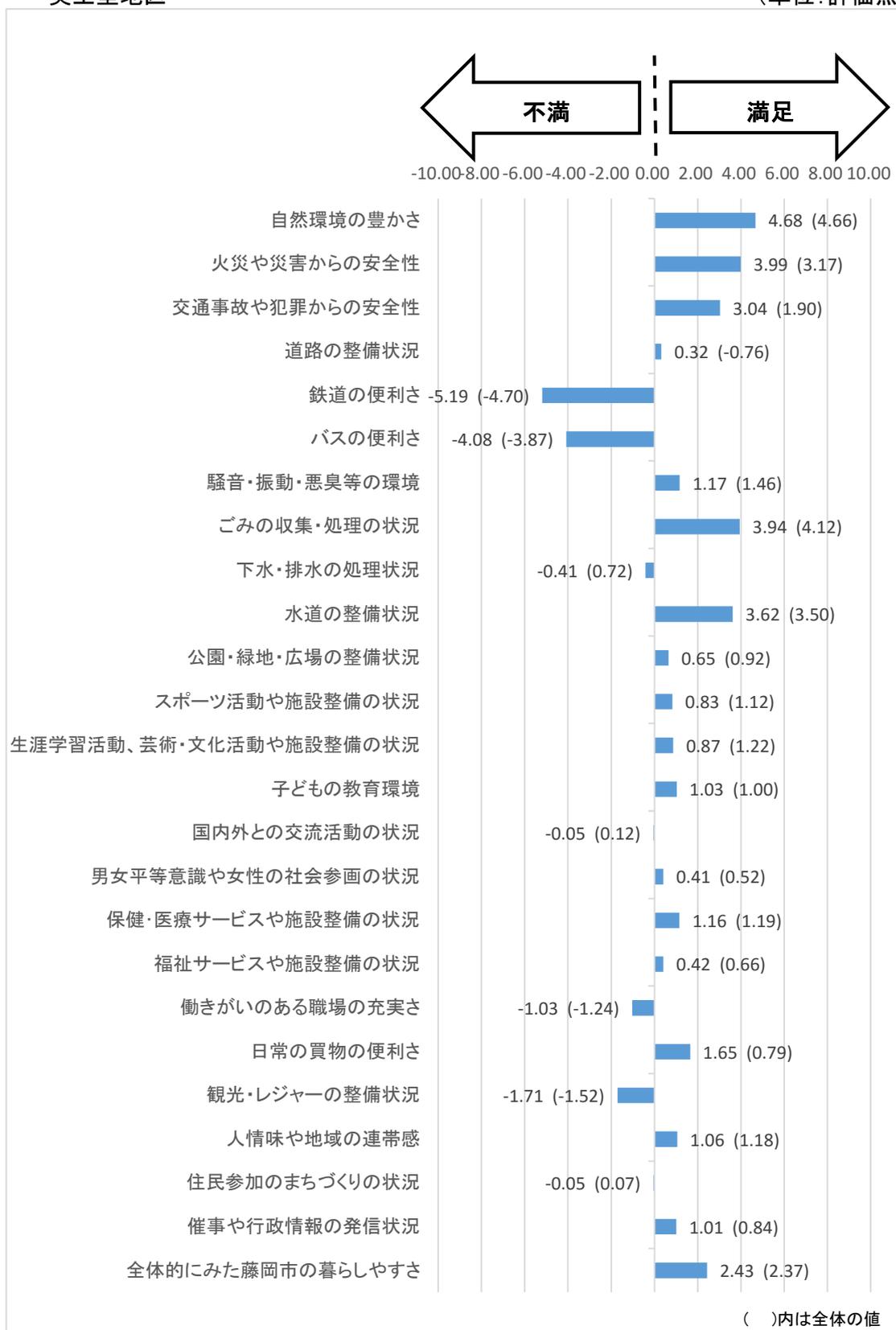
(単位:評価点)



図表3 市の現状評価(居住地区別/満足度)

美土里地区

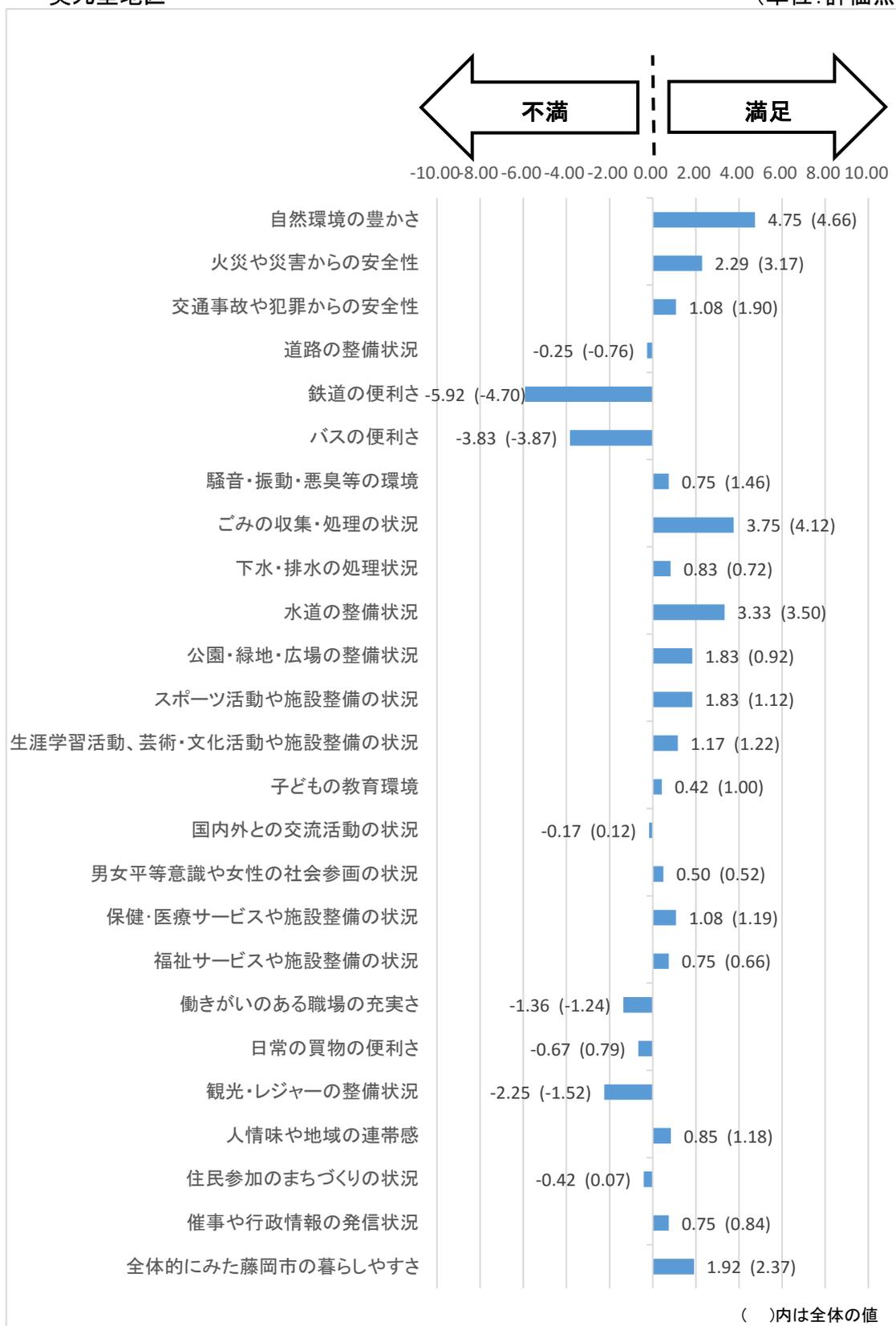
(単位:評価点)



図表3 市の現状評価(居住地区別/満足度)

美九里地区

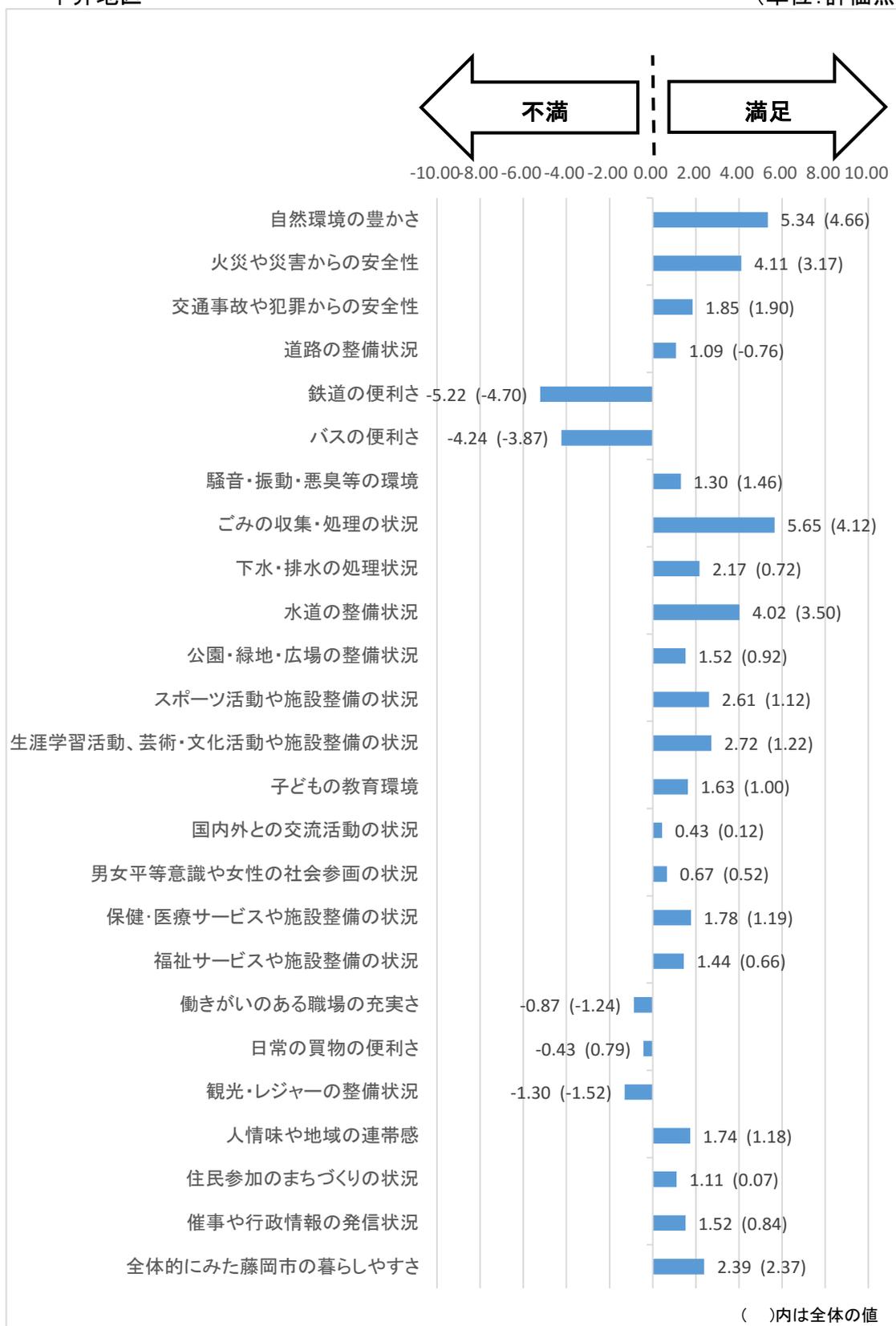
(単位:評価点)



図表3 市の現状評価(居住地区別/満足度)

平井地区

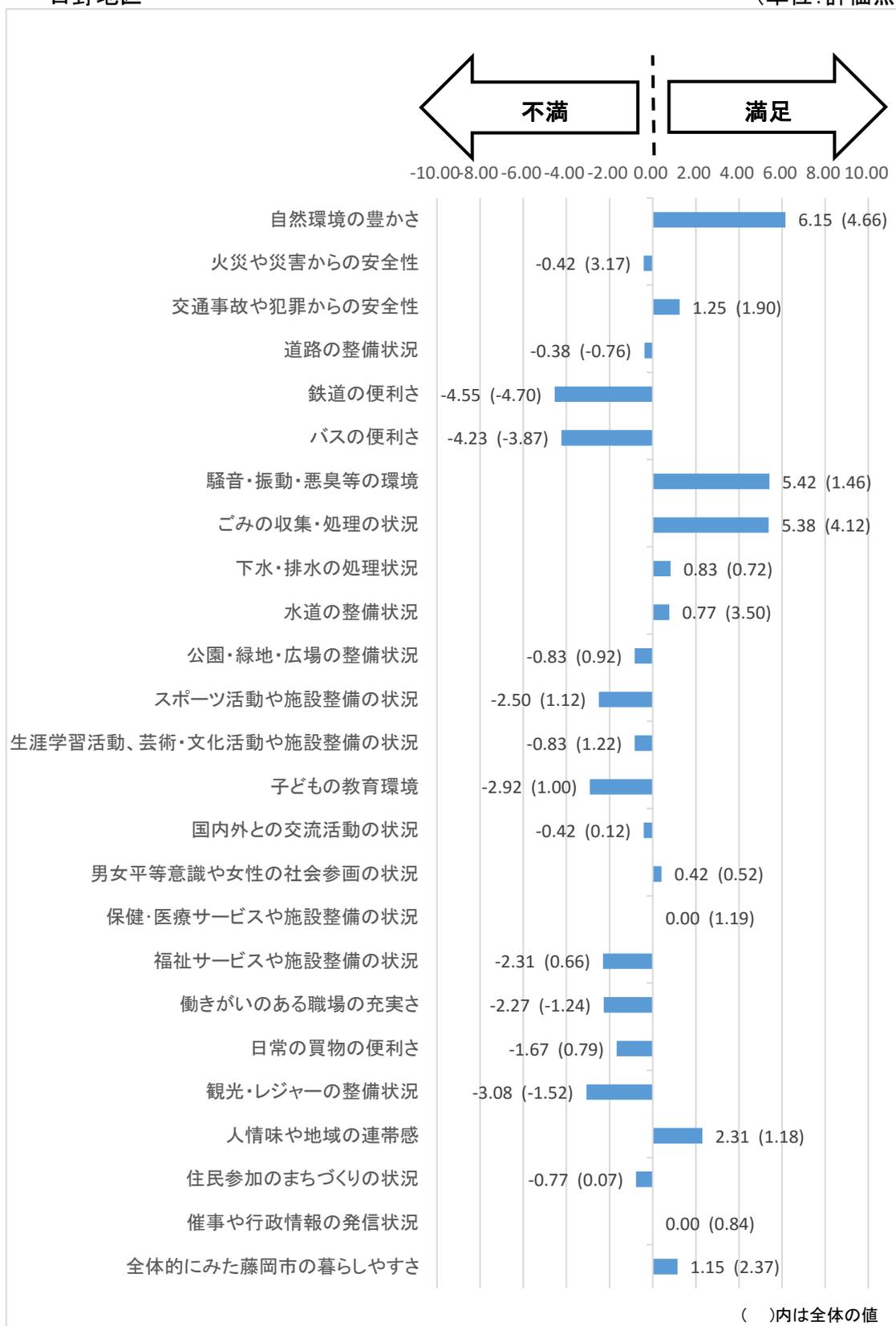
(単位:評価点)



図表3 市の現状評価(居住地区別/満足度)

日野地区

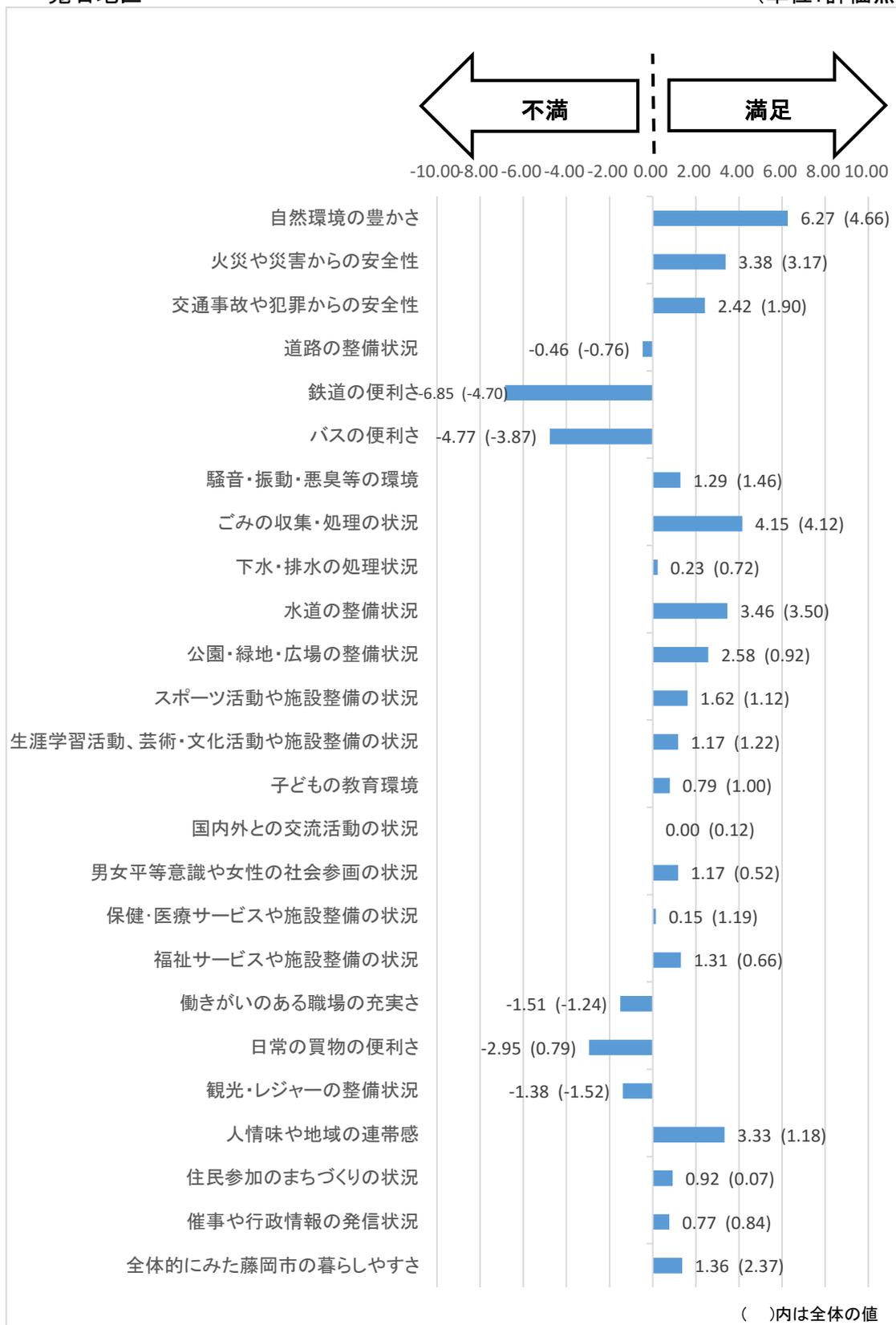
(単位:評価点)



図表3 市の現状評価(居住地区別/満足度)

鬼石地区

(単位:評価点)



4 これからのまちづくりについて

今後の重点施策分野

問3 今後のまちづくりについて、特に力を入れてほしいと思う分野5つまでに○をつけてください。(1~36の番号のうち5つまでに○)

- 今後、最も力を入れて欲しい分野は、「道路の整備」であった。続いて、「高齢者への福祉施策や施設の整備充実」、「保健・医療体制や施設の整備充実」、「中心市街地の活性化」、「交通の便の充実（鉄道の充実）」であった。

まちづくりに関する36項目のうち、今後特に力を入れてほしいと思う分野5つまでを選んでもらった。

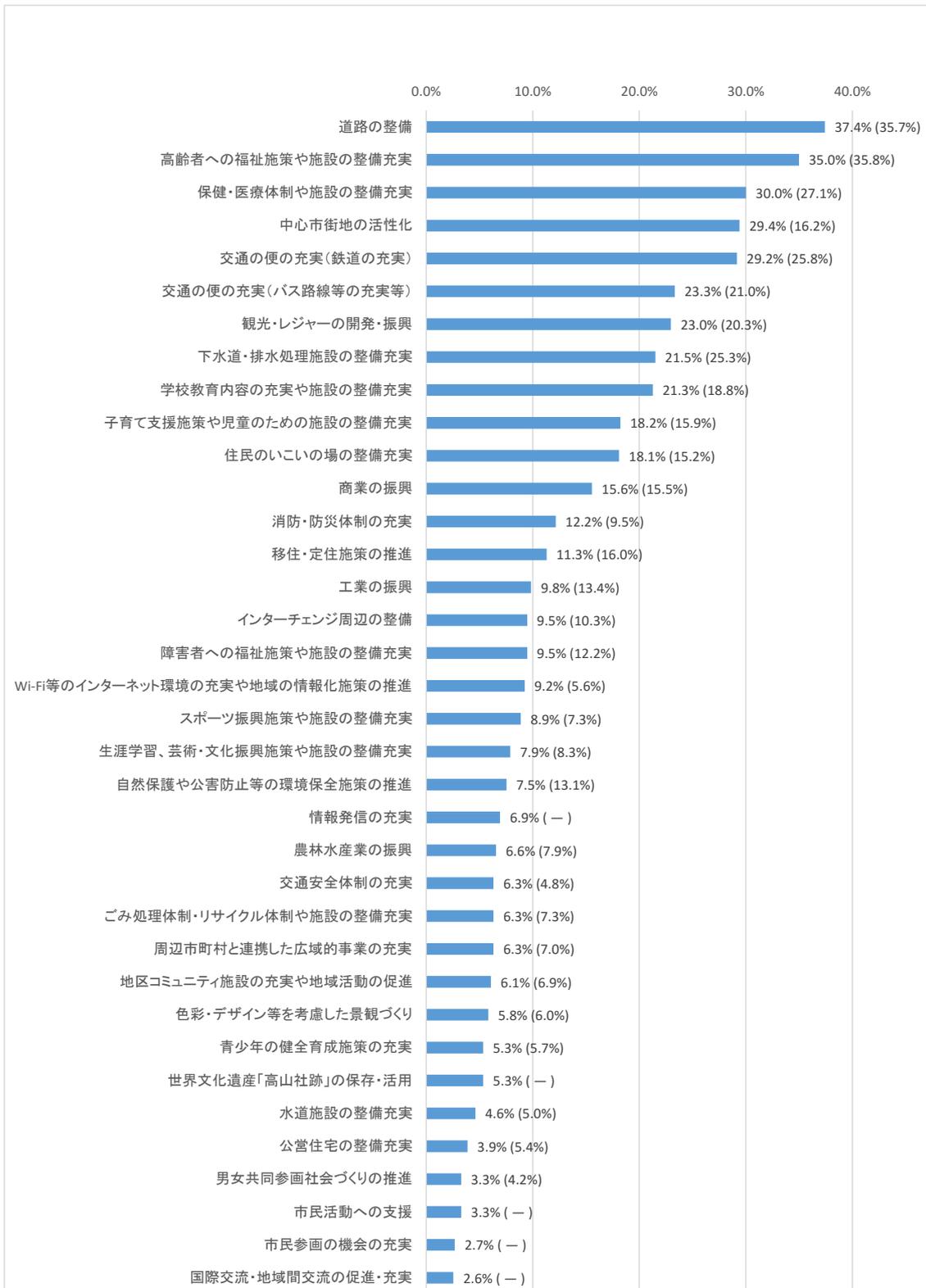
最も力を入れて欲しい分野は、「道路の整備」(37.4%※前回35.7%)であった。続いて、「高齢者への福祉施策や施設の整備充実」(35.0%※前回35.8%)、「保健・医療体制や施設の整備充実」(30.0%※前回27.1%)、「中心市街地の活性化」(29.4%※前回16.2%)、「交通の便の充実（鉄道の充実）」(29.2%※前回25.8%)の順となった。平成25年に実施した前回の調査と比較すると、「道路の整備」や「高齢者への福祉施策や施設の整備充実」への関心は依然として高く、「中心市街地の活性化」(29.4%※前回16.2%)や「交通の便の充実（鉄道の充実）」(29.2%※前回25.8%)、「交通の便の充実（バス路線等の充実等）」(23.3%※前回21.0%)、「観光・レジャーの開発・振興」(23.0%※前回20.3%)の施策への関心も高まっている。また、前述の分野より割合は少し低いが、「学校教育内容の充実や施設の整備充実」(21.3%※前回18.8%)や「子育て支援施策や児童のための施設の整備充実」(18.2%※前回15.9%)、「住民のいこいの場の整備充実」(18.1%※前回15.2%)の施策への関心も高まっている。[図表4参照]

性別では、上位5つの分野に違いは見られないが、「道路の整備」については、男性が第1位、42.0%に対し、女性は第2位、34.1%となっている。「交通の便の充実（鉄道の充実）」については、男性が第5位、26.6%に対し、女性は第3位、31.6%となっている。

年齢別（世代別）では、若者は「交通の便の充実（鉄道の充実）」や「Wi-Fi等のインターネット環境の充実や地域の情報化施策の推進」に関心が高く、子育て世代は、「子育て支援施策や児童のための施設の整備充実」や「学校教育内容の充実や施設の整備充実」に関心が高い。年齢が上がっていくにつれ、「高齢者への福祉施策や施設の整備充実」や「保健・医療体制や施設の整備充実」、「中心市街地の活性化」等への関心が高くなり、70~80歳代以上では、「交通の便の充実（バス路線等の充実等）」に関心が高くなっていく。

地区別では、「道路の整備」や「高齢者への福祉施策や施設の整備充実」、「保健・医療体制や施設の整備充実」の関心は依然として高く、「交通の便の充実（鉄道の充実）」や「交通の便の充実（バス路線等の充実等）」等は、地区によって差が見られる。[図表5~6参照]

図表4 今後の重点施策分野(全体/複数回答)



()内は前回(H25)の値
 (-)は新規や複数に分けたもの

図表5 今後の重点施策分野(全体、性別、年齢別/複数回答)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
全体		道路の整備 37.4%	高齢者への福祉施策や施設の整備充実 35.0%	保健・医療体制や施設の整備充実 30.0%	中心市街地の活性化 29.4%	交通の便の充実(鉄道の充実) 29.2%	
性別	男性	道路の整備 42.0%	高齢者への福祉施策や施設の整備充実 34.6%	中心市街地の活性化 30.1%	保健・医療体制や施設の整備充実 29.8%	交通の便の充実(鉄道の充実) 26.6%	
	女性	高齢者への福祉施策や施設の整備充実 34.6%	道路の整備 34.1%	交通の便の充実(鉄道の充実) 31.6%	保健・医療体制や施設の整備充実 30.4%	中心市街地の活性化 29.0%	
年齢別	10歳代	交通の便の充実(鉄道の充実) 68.8%	Wi-Fi等のインターネット環境の充実や地域の情報化施策の推進 62.5%	観光・レジャーの開発・振興 43.8%	住民のいこいの場の整備充実 31.3%	道路の整備 商業の振興 18.8%	
	20歳代	交通の便の充実(鉄道の充実) 45.8%	子育て支援施策や児童のための施設の整備充実 観光・レジャーの開発・振興 Wi-Fi等のインターネット環境の充実や地域の情報化施策の推進			道路の整備 33.9%	32.2%
	30歳代	子育て支援施策や児童のための施設の整備充実 47.6%	保健・医療体制や施設の整備充実 46.0%	学校教育内容の充実や施設の整備充実 41.3%	道路の整備 34.9%	住民のいこいの場の整備充実 31.7%	
	40歳代	交通の便の充実(鉄道の充実) 40.0%	道路の整備 38.6%	学校教育内容の充実や施設の整備充実 観光・レジャーの開発・振興 中心市街地の活性化			27.6%
	50歳代	道路の整備 44.4%	高齢者への福祉施策や施設の整備充実 33.8%	交通の便の充実(鉄道の充実) 32.3%	中心市街地の活性化 28.6%	保健・医療体制や施設の整備充実 27.8%	
	60歳代	高齢者への福祉施策や施設の整備充実 46.8%	道路の整備 42.1%	保健・医療体制や施設の整備充実 32.3%	中心市街地の活性化 30.2%	下水道・排水処理施設の整備充実 24.3%	
	70歳代	高齢者への福祉施策や施設の整備充実 49.3%	中心市街地の活性化 35.8%	保健・医療体制や施設の整備充実 32.4%	交通の便の充実(バス路線等の充実等) 31.8%	道路の整備 29.7%	
	80歳代以上	高齢者への福祉施策や施設の整備充実 65.0%	交通の便の充実(バス路線等の充実等) 45.0%	道路の整備 保健・医療体制や施設の整備充実 中心市街地の活性化			30.0%

図表6 今後の重点施策分野(全体、居住地別/複数回答)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体	道路の整備 37.4%	高齢者への福祉施策や施設の整備充実 35.0%	保健・医療体制や施設の整備充実 30.0%	中心市街地の活性化 29.4%	交通の便の充実(鉄道の充実) 29.2%
藤岡地区	第1位	第2位		第5位	
	中心市街地の活性化 38.2%	道路の整備 交通の便の充実(鉄道の充実) 高齢者への福祉施策や施設の整備充実	35.5%		保健・医療体制や施設の整備充実 31.2%
神流地区	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
	道路の整備 52.7%	下水道・排水処理施設の整備充実 37.6%	高齢者への福祉施策や施設の整備充実 35.5%	中心市街地の活性化 29.0%	交通の便の充実(バス路線等の充実等) 28.0%
小野地区	第1位	第2位		第4位	第5位
	道路の整備 43.7%	交通の便の充実(鉄道の充実) 高齢者への福祉施策や施設の整備充実	32.5%		下水道・排水処理施設の整備充実 31.0%
美土里地区	第1位	第2位	第3位		
	高齢者への福祉施策や施設の整備充実 42.7%	保健・医療体制や施設の整備充実 29.1%	道路の整備 交通の便の充実(バス路線等の充実等) 観光・レジャーの開発・振興 28.2%		
美九里地区	第1位		第3位	第4位	第5位
	道路の整備 交通の便の充実(鉄道の充実) 36.1%		保健・医療体制や施設の整備充実 32.8%	高齢者への福祉施策や施設の整備充実 27.9%	中心市街地の活性化 24.6%
平井地区	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
	道路の整備 42.6%	交通の便の充実(バス路線等の充実等) 38.3%	高齢者への福祉施策や施設の整備充実 36.2%	保健・医療体制や施設の整備充実 29.8%	観光・レジャーの開発・振興 23.4%
日野地区	第1位	第2位		第4位	
	道路の整備 53.8%	高齢者への福祉施策や施設の整備充実 観光・レジャーの開発・振興	46.2%		交通の便の充実(バス路線等の充実等) 住民のいこいの場の整備充実 子育て支援施策や児童のための施設の整備充実 30.8%
鬼石地区	第1位	第2位	第3位	第4位	
	保健・医療体制や施設の整備充実 42.9%	交通の便の充実(バス路線等の充実等) 37.1%	高齢者への福祉施策や施設の整備充実 28.6%	学校教育内容の充実や施設の整備充実 移住・定住施策の推進 中心市街地の活性化 25.7%	

5 自由意見

◎その他に今後力を入れて欲しい分野やご意見・ご要望など、自由にご記入ください。



- 回答者823人のうち、自由記述欄に意見や要望など記入した回答者は235人（28.6%）、意見や要望などの数は411件であった。
- 意見や要望などを、①生活・環境、②健康・福祉、③産業・観光、④都市基盤、⑤教育・文化、⑥行財政、⑦その他の7分野及びその分野別に分類すると、次のとおりとなった。[図表7]

図表7 自由意見の分野別件数（全体）

分 野	件 数(件)
①生活・環境	57
②健康・福祉	47
③産業・観光	62
④都市基盤	119
⑤教育・文化	50
⑥行財政	38
⑦その他	38
計	411

自由意見の内容

分野	内容		件数
① 生活・環境	消防・防災	消防・防災体制の充実	4
		過去に起こった災害を踏まえた情報発信	1
		防災無線の設置	2
		鮎川のゲリラ豪雨対策の推進	1
		街灯の設置	11
		防犯カメラの設置	4
	交通安全・防犯	犯罪の無いまちづくり	3
	循環型社会形成	ゴミの捨て方を改善してほしい	1
		ごみ置き場の整備	2
		ごみ置き場の柔軟な対応	1
	地球温暖化対策	自然破壊や地球温暖化の防止	2
	環境保全	森林保護・緑化促進	2
		自宅や田畑での焼却行為に対する対策	1
		河川環境の整備	1
環境衛生	空き地の雑草の管理	1	
	市有霊園がほしい	1	
	犬や猫の避妊・去勢手術への助成	1	
上水道	水道料金の引き下げ	3	
	良質な水道水の供給	6	
下水道	下水道の整備	4	
	合併浄化槽の普及	1	
	排水対策の推進	1	
その他	都市ガスの整備	1	
	偕同苑の整備充実	1	
	花であふれたまちづくり	1	
計			57

分野	内容		件数
② 健康・福祉	健康増進	検診内容や種類の充実	1
		各種検診の負担額の引き下げ	1
		若者への人間ドックの補助	1
	地域医療	藤岡総合病院の充実	7
		患者に対する病院の接し方が悪い	1
		専門の開業医が少ない	1
		医療体制の充実	1
		小児救急医療体制の充実	2
		医療体制がすばらしい	1
		在宅医療体制の充実	1
	障害者福祉	聴覚障害者支援センターの設置	1
		発達障害児への理解普及	1
		発達障害児支援センターの設置	1
		要約筆記者の養成	1
	地域福祉	民生委員の充実活用	1
	高齢者福祉	高齢者対策の充実	6
		1人暮らしの高齢者の見守りシステムの構築	1
		徘徊高齢者の救援システムの構築	1
		高齢者施設へのサポーター制度の構築	1
		高齢者の免許返納に対する支援	1
在宅看取りの環境を構築してほしい		1	
元気な高齢者を都市部から受け入れる		1	
子育て支援		安心・安全な子育て環境の充実	2
子どもが安心・安全に暮らせるまちづくり	2		
0~3歳の子どもを連れて行ける公園や児童館を増やしてほしい	3		
子育てしやすいまちをアピールする	1		
子育て支援策が他市町村より充実している	1		
児童館の整備充実	1		
学童保育や病児保育の増設	1		
子育て支援サポーター制度の復活	1		
宿泊型産後ケア施設の整備	1		
計			47

分野	内容		件数
③ 産業・観光	商業・サービス業	中心市街地の活性化	3
		商店街の活性化	1
		商業の振興	1
		日常買物が不便	2
		大型商業施設の誘致	7
		市内にバランスよく店を誘致してほしい	1
		若者に人気のある店を誘致してほしい	2
		スーパーや雑貨屋、カフェがほしい	1
		休日に遊べる場所がほしい	1
		飲食店の充実	2
		浄法寺にスーパーや飲食店がほしい	1
		プレミアム商品券の購入方法が不公平	1
		藤岡市の経済の活性化に期待する	1
	工業・地場産業	企業誘致の促進	11
		工業用地の整備	1
		美九里地区への商業施設、工業団地の誘致	1
勤労者福祉・雇用	若者の移住・定住（U I Jターン）の推進	5	
	大学卒業者の就職先の充実	1	
観光	観光施設の整備充実	2	
	道の駅ららん藤岡の充実	2	
	外国人観光客への取り組みの充実	3	
	観光資源の発掘	1	
	観光の振興	1	
	自然を生かした集客施設の整備	1	
	自然を最大限活用したまちづくり	1	
農業	農業の振興	1	
	農道の整備	1	
	鳥獣被害対策の充実	1	
	耕作放棄地の利用推進	3	
林業	林業の充実	1	
その他	毎年度花火大会を実施してほしい	1	
計			62

分野	内容		件数
④ 都市基盤	土地利用	藤岡インターチェンジ周辺の開発	5
		都市計画区域の見直し	2
		バイパス整備による土地の有効活用	1
		規制緩和による大規模商業施設の誘致	1
	市街地整備	区画整理の推進	1
		トイレが少ない	1
		水洗トイレの設置	1
		古い建物の活用（リノベーション）	1
	道路・橋梁	歩道・通学路の整備	18
		歩行者優先のまちづくり	2
		道路の整備	20
		道路脇の街路樹・雑草・ゴミの除去	6
		側溝の整備	3
		側溝蓋の整備	1
踏切に車道と歩道の区切りがほしい		1	
住環境	住環境の整備	1	
	耐震対策への補助	2	
	空き家対策の推進	8	
公共交通	公共交通機関の整備充実	4	
	J R群馬藤岡駅や駅周辺の整備充実	5	
	J R八高線の増便	5	
	J R高崎線のJ R北藤岡駅への停車	2	
	八高線新駅の設置	2	
	鉄道の利便性の向上	1	
	新町駅への交通利便性の向上	1	
	車に依存しないまちづくり	1	
	バス路線の充実	6	
	10～20年後を考えた交通手段の開発	1	
公園・緑地	公園の整備充実	7	
	市民の憩いの場の設置	1	
	庚申山総合公園の整備充実	2	
	公園に遊具がほしい	1	
	ローラースケートやスケートボード場の整備	1	
景観	景観に配慮したまちづくり	2	
	大型太陽光発電設備の制限強化	1	
その他	工事費用を社会福祉に充ててほしい	1	
計			119

分野	内 容		件 数
⑤ 教育・文化	幼児教育・学校教育	公立幼稚園の設置	1
		子どもの学力の向上	1
		他市の学校との交流	1
		小中学校の教諭の質の向上	1
		学校の先生の意識改革	1
		小学校学区の見直し	1
	教育環境	教育環境の充実	1
		学校へのエアコンの設置	13
		高校や大学を含めた高度教育の充実 大学や専門学校の誘致	1 1
	生涯学習	総合学習センターの充実	4
		市民を第一に考えた各種教室の利用方法の構築	1
		市民ホールの整備充実	1
	スポーツ	スポーツ施設の充実	4
		スポーツ活動の充実	1
河川敷を活用したスポーツの場の整備		1	
バスケットやバレーボールなどの屋外コート の整備		1	
大人のスポーツ活動の充実や場所の提供		1	
市民体育館周辺の駐車場整備		3	
市体育館を利用する学生への減免		1	
東京オリンピック・パラリンピックの活用	1		
青少年健全育成	青少年健全育成活動の推進	2	
地域文化	文化や教育内容の充実	1	
	みかぼみらい館の充実	1	
	高山社跡以外の養蚕の歴史の普及	1	
文化財	世界文化遺産「高山社跡」の保存・活用	1	
	高山社跡の整備保存はしなくてよい	1	
その他	集会所の設置	1	
	藤岡中央高校の制服を変えて受験者を増やす	1	
計			50

分野	内容		件数
⑥ 行財政	広報広聴	情報発信の充実	5
		他県や他市への情報発信の充実	1
		市ホームページの充実	1
		ガイドブックの作成	1
		藤岡市の知名度アップ	1
		「ふじおか」の潜在的な魅力を発掘	1
		市民の声に耳を傾けてほしい	5
		人が藤岡に来るように一般市民からアイデアを募る	1
	行政運営	市の方向性を明確にしてほしい	2
		スピードあるまちづくり	1
		市役所の利便性の向上	1
		公共施設等の余剰地の活用	1
		既存施設の活用	3
藤岡総合病院跡地の活用		2	
合併問題や合併に関すること		2	
市民参画・協働	市職員の対応が悪い	3	
	市議会議員数の削減	1	
	藤岡の良さを市民が自覚し自慢できるとよい	1	
	住み続けたいと思うまちづくりは、住民自身が知恵を出し動くことが重要	1	
交流活動	市、県、国のせいにするのではなく、市民が当事者意識を持つことが重要	1	
	ボランティア機会の充実	2	
	他市町村との連携	1	
計			38

⑦ その他	人口減少を食い止めてほしい	3
	人口減少でも住みやすいまちづくりの推進	1
	生まれ育った藤岡市がさらに暮らしやすくなるように応援したい	1
	「〇〇といえば藤岡市」という売りを作る	4
	地元の漫画家やデザイナーを起用したキャラクターの活用	1
	「人」が生きるまちづくり	1
	不便を感じないまちづくり	1
	みんながあいさつをし合うまちづくり	1
	子ども達の未来を考えたまちづくり	2
	魅力あるまちづくり	1
	若い世代に住んでもらえる藤岡になってほしい	3
	若い人が遊べる場所がほしい	1
	若者の意向を大切にす	1
	若い世代への結婚相談支援の充実	1
	子どもの遊園地がほしい	1
	買物や通学が不便で引っ越しを考える	1
	ドッグランの整備	1
	ドライブスルー型の薬局の設置	1
	上落合では藤岡市内のチラシが新聞に入らない	1
	アンケートの仕方や方法などの改善	5
アンケートの活用	2	
良いところが見当たらない	1	
内容が不適當であるもの	3	
計		38
総計		411

今後 10 年間の藤岡市のまちづくりについて

市民アンケート調査ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政へのご理解、ご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

藤岡市では、今年度と来年度の2か年で、今後10年間のまちづくりの指針となる「第5次藤岡市総合計画」を作成していきます。「第5次藤岡市総合計画」は今後の藤岡市のまちづくりを進めていくための道しるべとなるため、藤岡市の将来について市民の皆さんと一緒に考えながら、市民の皆さんの意見を取り入れて作っていくことが重要です。

そこで今回、市民の皆さんの意見を取り入れていく方法の1つとして、市民アンケート調査を実施します。18歳以上の市民の皆さんの中から、2,000名を無作為に抽出したところ、あなたにアンケートをお願いすることになりました。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の目的、趣旨をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせくださるようお願い申し上げます。

なお、このアンケートはすべて統計的に処理いたしますので、個人を特定するようなことは一切ありません。

平成 28 年 9 月

藤岡市長 新井利明

記入上の注意

- 1 宛名に記載されているご本人がお答えください。
- 2 氏名は記入しないでください。
- 3 回答は設問ごとに、「1 つに〇をつけるもの」と「5 つまでに〇をつけるもの」がありますのでご注意ください。
※〇印は番号を囲んでください。
- 4 ご記入いただいたアンケートは 平成 28 年 9 月 30 日(金) までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。(切手は不要です。)
- 5 このアンケートについてのお問い合わせは、下の宛先をお願いします。



藤岡市役所 企画課 企画係
〒375-8601 藤岡市中栗須 327
TEL : 0274-40-2424 (直通)
FAX : 0274-24-3252

まず初めに、あなたご自身のことについてお聞きします。

問1 あなたご自身のことについて、あてはまる番号1つに〇をつけてください。

設 問	回答欄 (1つに〇)		
1 あなたの性別	1 男	2 女	
2 あなたの年齢	1 10代 4 40代 7 70代	2 20代 5 50代 8 80代以上	3 30代 6 60代
3 あなたの職業	自 営	1 農林水産業 3 卸小売、飲食業	2 製造業・建設業 4 その他サービス業等
	勤 め	5 農林水産業 7 卸小売、飲食業 8 その他サービス業など（公務員を含む）	6 製造業・建設業
	そ の 他	9 主婦（パートタイムを含む） 10 無職	11 学生・その他
4 あなたの就業先	1 市内 4 就業していない	2 県内他市町村	3 県外
5 あなたの居住経験	1 藤岡市に生まれてからずっと住んでいる 2 藤岡市出身だが、市外での居住経験がある 3 県内の他の市町村から転入してきた 4 県外から転入してきた		
6 あなたの居住地区	1 藤岡地区 4 美土里地区 7 日野地区	2 神流地区 5 美九里地区 8 鬼石地区	3 小野地区 6 平井地区

次に、藤岡市の現状についてお聞きします。

問2 藤岡市の現状に関する(1)～(25)の各項目について、あてはまる満足度1つに○をつけてください。(5～1の番号のうち1つに○)

項目	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
(1) 自然環境の豊かさ	5	4	3	2	1
(2) 火災や災害からの安全性	5	4	3	2	1
(3) 交通事故や犯罪からの安全性	5	4	3	2	1
(4) 道路の整備状況	5	4	3	2	1
(5) 鉄道の便利さ	5	4	3	2	1
(6) バスの便利さ	5	4	3	2	1
(7) 騒音・振動・悪臭等の環境	5	4	3	2	1
(8) ごみの収集・処理の状況	5	4	3	2	1
(9) 下水・排水の処理状況	5	4	3	2	1
(10) 水道の整備状況	5	4	3	2	1
(11) 公園・緑地・広場の整備状況	5	4	3	2	1
(12) スポーツ活動や施設整備の状況	5	4	3	2	1
(13) 生涯学習活動、芸術・文化活動や施設整備の状況	5	4	3	2	1
(14) 子どもの教育環境	5	4	3	2	1
(15) 国内外との交流活動の状況	5	4	3	2	1
(16) 男女平等意識や女性の社会参画の状況	5	4	3	2	1
(17) 保健・医療サービスや施設整備の状況	5	4	3	2	1
(18) 福祉サービスや施設整備の状況	5	4	3	2	1
(19) 働きがいのある職場の充実さ	5	4	3	2	1
(20) 日常の買物の便利さ	5	4	3	2	1
(21) 観光・レジャーの整備状況	5	4	3	2	1
(22) 人情味や地域の連帯感	5	4	3	2	1
(23) 住民参加のまちづくりの状況	5	4	3	2	1
(24) 催事や行政情報の発信状況	5	4	3	2	1
(25) 全体的にみた藤岡市の暮らしやすさ	5	4	3	2	1

最後に、今後のまちづくりについてお聞きします。

問3 今後のまちづくりについて、特に力を入れてほしいと思う分野5つまでに○をつけてください。(1~36の番号のうち5つまでに○)

1	道路の整備（舗装、拡幅、歩道設置、基幹道路の整備促進等）	19	学校（幼・小・中）教育内容の充実や施設の整備充実
2	インターチェンジ周辺の整備	20	青少年の健全育成施策の充実
3	交通の便の充実（鉄道の充実）	21	男女共同参画社会づくりの推進
4	交通の便の充実（バス路線等の充実）	22	移住・定住施策の推進（U・Iターン）
5	交通安全体制の充実	23	農林水産業の振興
6	消防・防災体制の充実	24	工業の振興
7	水道施設の整備充実	25	商業の振興
8	下水道・排水処理施設の整備充実	26	観光・レジャーの開発・振興
9	ごみ処理・リサイクル体制や施設の整備充実	27	世界文化遺産「高山社跡」の保存・活用
10	住民のいこいの場（公園、緑地、水辺等）の整備充実	28	国際交流・地域間交流の促進・充実
11	自然保護や公害防止等の環境保全施策の推進	29	Wi-Fi 等のインターネット環境の充実や地域の情報化施策の推進
12	公営住宅の整備充実	30	中心市街地の活性化
13	保健・医療体制や施設の整備充実	31	色彩・デザイン等を考慮した景観づくり
14	高齢者への福祉施策や施設の整備充実	32	周辺市町村と連携した広域的事業の充実
15	障害者への福祉施策や施設の整備充実	33	地区コミュニティ施設(集会所、広場等)の充実や地域活動の促進
16	子育て支援施策や児童のための施設(保育所や遊び場等)の整備充実	34	情報発信の充実
17	生涯学習、芸術・文化振興施策や施設の整備充実	35	市民活動への支援
18	スポーツ振興施策や施設の整備充実	36	市民参画の機会の充実

◎ その他に今後力を入れて欲しい分野やご意見・ご要望など、自由にご記入ください。